

- 名称と時期 1.宝暦・天明期の文化 18世紀後半 ※宝暦・天明…ともに田沼時代の年号
 2.化政文化 19世紀前半 ※化政=文化・文政…ともに家斉期の年号
 ☆両方あわせて「化政文化」と呼ぶ場合もある。

- 特色① 3.江戸の町人中心の文化 ←江戸の経済発展
 ② 退廃・無気力・享乐的・遊戯的傾向 ←厳しい統制
 ③ 社会批判の学問 ④ 文化の地方伝播 ←出版、参詣の流行

小説の変遷と弾圧

※A系…文章中心、たまに絵

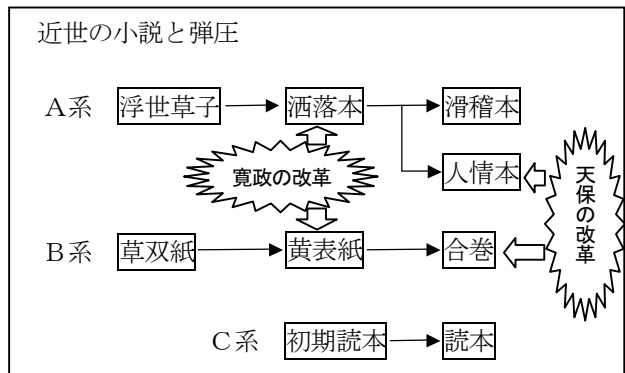
4.浮世草子(元禄)から

B系…絵中心、すき間に文章

5.草双紙(元禄中心)の流行

〈例〉赤本、黒本、青本

C系…文章重視 高い文学性(高級)



[I] 18世紀後半 宝暦・天明

A. 6. 洒落本 …遊里(吉原など)の世界 →寛政の改革で弾圧

「粋」「通」の文化 〈例〉8. 山東京伝 『9. 仕懸文庫』

B. 10. 黄表紙 …絵入り時事小説 風刺・世相批判も →寛政の改革で弾圧

〈例〉11. 恋川春町 『12. 金々先生栄華夢』 『おうむがえしぶんぶのふたみち 鶯鵲返文武二道』
 山東京伝『えどうまれうわきのかばやき 江戸生艶気権焼』

C. (初期) 13. 読本 〈例〉14. 上田秋成 (国学者) 『15. 雨月物語』 『春雨物語』

[II] 19世紀前半 化政期

Aa. 16. 滑稽本 …庶民の生活・笑い 「野暮」の文化

〈例〉17. 十返舎一九 『18. 東海道中膝栗毛』

19. 式亭三馬 『20. 浮世風呂』 『21. 浮世床』

Ab. 22. 人情本 …町人男女の情愛 →天保の改革で弾圧

〈例〉23. 為永春水 『24. 春色梅唄誉美(梅暦)』

B. 25. 合巻 …絵入り長編小説(数冊の黄表紙を綴じ合わせる) →天保の改革で弾圧

〈例〉26. 柳亭種彦 『27. 倭紫田舎源氏』 …將軍家斉と大奥を風刺?

C. 28. 読本 …勸善懲惡的

〈例〉29. 曲亭馬琴 『30. 南総里見八犬伝』 『ちんせつゆみはりづき 椿説弓張月』

その他の文芸 ☆背景に³²版元(出版業)の隆盛

<例>江戸の³³須原屋・³⁴耕書堂(鳶屋重三郎) ³⁵貸本屋・³⁶瓦版(よみうり)など

- 俳諧 ³⁷与謝蕪村 (摂津)…^{天明期} 絵画的(画家でもある)・浪漫的 『³⁸蕪村七部集』
- ³⁹小林一茶 (信濃)…^{化政期} 農村の生活感情 『⁴⁰おらが春』 他に横井也有(『鶉衣』)ら
- 和歌 ⁴¹香川景樹(→桂園派)・大隈言道ら …古今調 一般には浸透せず
- ⁴²良寛(諸国行脚)、⁴³田安宗武(松平定信の父)、賀茂真淵ら …万葉調
- ⁴⁴川柳 …⁴⁵前句付から発達(前句を略して五七五の付句が独立) 俳諧より自由 風刺や人情の機微
- <例>『³⁶俳風柳多留』…点者(判定) ⁴⁷柄井川柳 が初編を刊行
- ⁴⁸狂歌 …短歌形式 風刺・滑稽 『⁴⁹万載狂歌集』(千載集のパロディ)
- <例>⁵⁰大田南畝 (= ⁵¹蜀山人、⁵²四方赤良)…御家人・作家
- ⁵²宿屋飯盛(⁵³石川雅望)…国文学者

☆⁵⁴戯作…知識人(絵師・旗本など)が余技的に著述した文芸 遊戯的(社会批判性が薄い)

芸能

- 人形浄瑠璃 ⁵⁵竹田出雲 (大坂竹本座)…脚本 近松門左衛門の弟子
- 『⁵⁶仮名手本忠臣蔵』1748 『⁵⁷菅原伝授手習鑑』1746 など
- ⁵⁸近松半二(大坂)…竹田出雲の弟子 『^{にじゅうしこう}本朝廿四孝』『^{いもせやまおんなのていきん}妹背山婦庭訓』など
- その後衰退、竹本座消滅(1772) →大坂で正村文楽が復活(1811) …文楽座

歌舞伎 江戸後期に発達…⁵⁹芝居小屋・様式など完成 <例>⁶⁰江戸三座(中村座・市村座・森田座)

七代目⁶¹市川団十郎の歌舞伎十八番(『勸進帳』『助六』など)

- 作者 四世⁶²鶴屋南北 (江戸)…脚本 凄惨な怪談物を得意とする 『⁶³東海道四谷怪談』1825など
- 並木五瓶『^{ごだいりきこのらうじゆめ}五大力恋緋』三世瀬川如皐『^{じよこう}東山桜莊子』『^{よはなさけうきなのおくし}与話情浮名横櫛』
- ⁶⁴河竹黙阿弥 (江戸)…幕末～明治 ^{しらなみのもの}白浪物(盗賊が主人公) ※明治には散切物
- 『^{さんにんきさくわのほつがい}白浪五人男』1862 『^{ねずみこもんはるのしんがた}三人吉三廓初買』『^{ねずみこもんはるのしんがた}鼠小紋東君新形』など

その他の芸能

- ⁶⁶歌浄瑠璃…人形から離れる 音楽の重視 <例>⁶⁷常磐津節、⁶⁸清元節、^{しんないぶし}新内節、^{いっちゆうぶし}一中節
- ⁶⁹寄席(講談・落語など)、長唄、見世物小屋など

【正誤問題に挑戦】<センター1996本追試験より>

- ① 『春色梅児誉美』(『春色梅暦』)を著した人情本作家の為永春水は、天保改革期に、風俗を乱したという理由で処罰された。
- ② 和歌から派生した狂歌では、大田蜀山人や宿屋飯盛が活躍し、また川柳では『俳風柳多留』(『俳風柳樽』)を選んだ竹田出雲が著名である。